

第7回奈良ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 平成30年11月14日(水) 19時～22時
- ◇会場 次世代教員養成センター多目的ホール
- ◇参加者 梶原(平城西小)、圓山・大西(飛鳥小)、中澤哲(平群北小)、島(郡山西小)、
後藤田(大阪成蹊大)、青山・掘・藤田(京エコロジーセンター)、高良(筒井小)、
中澤敦(きんき環境館)、三木・樋口(都跡小)、蔵前(真美ヶ丘第一小)
板崎・山田・藤井・阿部・西田・片山・桑・菱谷(学生)
北村・吉川・中澤(奈良教育大学)、 計25名

◇内容



1. 柳生街道とわたしたちの暮らし 西田侑壱
 - ・3年生の社会科よりも高学年の総合の方が発達段階としてふさわしいのでは
 - ・なぜ現代も残されているという問い方(道は残るもの)
 - ・奈良の人にとっての生活道、清水通りから迫ってはどうか(インタビュー調査)から地域活性化を考える授業にしてはどうか
 - ・SDGsのどこと関連するのか:目標11かな

- ・調査の方法:聞き取り調査の方法
国語教材「インタビューしよう」
モデルを見せる→児童相互→校内の先生方へ→実際のインタビューというプロセスを踏む
事前に根回しをしておく
- ・奈良安全策動などに関連して取り扱うと面白い
- ・単元の目標:過去→現在→未来
- ・何年ぐらい前までを扱うか
- ・社会科なら3年生の地域の変遷
- ・中心発問の再考:柳生地域の課題をふまえ、これからを考えるなど

2. 秋吉台の観光化とこれから 片山健太

- ・中学校1年生の「地域」:市町村より小さな地域
- ・秋吉台はカルスト地形の教材だけでない。人とのかかわりの中で景観保全が行われていることに気づかせたい
- ・畑作地・畜産業 → 日本軍の演習地 → 米軍の空軍演習地への反対から観光化へ
- ・草地として維持するための山焼きとその担い手・受益者の問題
苦勞しているのは畜産業の方 利益は観光関連の方 という問題
- ・景観の維持について考える
- ・ジオパークとしての価値も伝える
- ・地域学習で取り扱う(どこの生徒を想定しているのか):自分の地域に転移する

- ・畜産と観光のほかに自分たちにできることも考えさせては
- ・地理学習の内容と発展的な内容をどうつなぐか
- ・新学習指導要領の新しいところなのでチャレンジングな内容
- ・学習内容が多すぎるので「山焼き」に焦点化してはどうか。
- ・この地域の産業（観光業）を維持するうえで必要な草地の維持
今後も草地は維持できるかどうかから、他地域の草地の維持と比較して考える

3. 水を大切にしよう 山田つきみ

- ・水は三島の宝物
- ・バーチャル・ウォーターを紹介する。
(P46 参照)
- ・バーチャル・ウォーターの使い方
水は限られた資源であること
食料を輸入することはその地域の水を奪っていること
 - 食べ物を残さない
 - 食料自給率をあげることの重要性
 - 知ることは重要
 - 見えない水の見えるかはそのような見方を養うことになる
- ・バーチャル・ウォーターを持ち出さなくても、ペットボトル水のことから、ゴミのリサイクル（ペットボトルリサイクルは今後可能か・中国ショック）。
- ・（イ）を先にして（社会科学習としての中心）、（ア）へつなげることで地域の特色の学習になる。
- ・社会科の内容を整理するといいい。
- ・水をメインにした学習としては
- ・バーチャル・ウォーターを持ち出すと三島が薄れるのでは



4. 「英語の歌」 Heal the World by Michael Jackson 糸綾香

- ・歌が発表された時代背景を考える
- ・子どものモノローグ 25年度、better place になっているのか。
- ・英語の教科でする必要性は？英語としての学びはどこにあるのか？ボキャブラリー？
- ・PVがいいので、それから考える学習、作者が描いている社会についての学習にしては
- ・PVを見ると社会的背景を類推できる。
- ・all English で指導するといいいのでは
- ・「私たちに何ができるか」を歌で表現するのはどうか
- ・あなたにとってのよりよい場所を考えさせてはどうか？
同時代の異年齢の子どもが考える better place を比較する。

5. 信貴山縁起絵巻をよむ 中澤哲也先生

- ・国語教材「鳥獣戯画をよむ」の発展として学習する
鳥獣戯画の解説文に述べられた4つの観点を信貴山縁起絵巻に活用する

・信貴山・校区の宝もの 信貴山朝護孫子寺・信貴山縁起絵巻

900年前 作者不明 伝説

登場人物の表情、しぐさ、色彩、生活風景が描かれているという特徴がある

・教育委員会、ボランティアガイドとの連携

絵巻のよさ、価値、見どころを聞き、解説文を作成し発信する。

・学芸員・ボランティアに話してもらいたいこと：

ガイドをやろうとしたきっかけを聞くといいのでは

・ストーリーにはふれないのか？→学芸員に巻物を見せてもらいながら、解説してもらおう。

・ストーリーにそった紹介文でなくてもいい。児童の着目点にこだわった解説文でいい。

・国語の中に総合 国語の「書く」が中心。国語で通すことも。

・国語の教材化があるので、導入としてよい。

・地元の宝物を知ることは重要だ（高校日本史の内容だが）

・道の駅での発信の仕方についてのアイデア

好きな場面を絵ハガキで

パンフレットは中途半端 アップとルーズをつかって想像を練りあう

自分らなりの絵巻をつくる

直接伝えて反応をもらうのが達成感がある。場面設定して。

・高畑勲さんから入っていくことで解説の面白さを学んだので、そこでの観点で絵巻の読んで考えたこととボランティアさんの観点を比較するといいのでは。



6. わたしたちの願いと政治のはたらき 島俊彦先生

・シティズンシップ教育を援用して単元デザインを考えた

地域社会が学習の土台になる

社会科・社会系の学習が中心

・日本社会の問題として人口減少 → 川上村 → 大和郡山市（消滅可能性都市）

・川上村は人口減少率日本一 一方、ベビーブームでもある←村の施策がある（手厚い助成や補助金）

習い事補助金事業 人びとの願いや地域の実情を反映した施策

大和郡山市 人びとの願い（保護者インタビュー）と行政施策の比較

市の総合戦略と比較するには、保護者だけでは不十分。現状をしっかりと把握するために、地域住民へのアンケートをしては。聞く分母を増やす。

・大和郡山市の未来ビジョンを描いてもいいのでは

・私たちの政治とのかかわり方は？具体的に。（川上村の小学生がしていることを参考にしては）。

・人口減少としてのモデルとしては川上村は有効だが、大和郡山の課題を矮小化しかねないので、注意。

・社会科+総合で組み立てては。

・国の行政の学習へ発展させる。



今回で学生の皆さんの ESD 学習指導案の検討は終了です。ご指導いただいている現職の先生方と連絡を取り、1 月末日までに仕上げ、中澤までメールで提出して下さい。先生方の方から、進捗状況を問い合わせてくださいとありがたいです。

第 8 回奈良 ESD 連続セミナーは、12 月 04 日（火）19 時～次世代教員養成センター 2 号館で開催します。

12 月 26 日・27 日に実践発表していただく、河野先生、阿彌先生の実践発表をお願いします。